

【授業の概要】

保育の専門職である保育士に求められる知識・役割・倫理等について理解を深めるとともに自分をみつめ、自分の課題を見つけ、保育士像（保育観）を描けるようにする。

【授業要旨】

回数	題目	授 業 内 容
1	「保育者になる」ということ	・保育者を目指したきっかけは、魅力的な保育者になるための大切なことは
2	保育者になるには一資格等	・免許や資格を取得するためには
3	保育者の一日	・具体的な仕事の流れに見える保育者のまなざし
4	子どもの思いや育ちを理解する仕事Ⅰ	・子どもをわかるということ、子どもが育つということ
5	子どもの思いや育ちを理解する仕事Ⅱ	・子どもを読み解くということ
6	子どもと一緒に心と体を動かす仕事	・3, 4, 5 歳児における保育者の役割
7	子どもと一緒に心と体を動かす仕事	・0, 1, 2 歳児における保育者の役割
8	豊かな文化や自然との出会いをつなぐ仕事	・絵本を通して豊かな生活を生み出す保育者
9	子どもと豊かに生活するための保育者の個性	・保育の積み重ねの中で子どもの中に育つもの
10	保護者や家庭と一緒に歩む仕事	・なぜ、子育て支援（保護者への支援）が必要か
11	保護者・地域における子育て支援	・保育所の特色を活かす支援とは
12	学びあう保育者Ⅰ	・保育の場における保育者の成長と同僚関係
13	学びあう保育者Ⅱ	・保育者の専門性と省察
14	保育者の専門性って何だろうⅠ	・専門性とは、かかわり方の専門性とは
15	まとめ	・自分の目指す保育者像について

【評価の方法】

レポート、試験、出席状況、授業態度などにより総合評価する。

【テキスト】

「保育者論」 汐見 稔幸・大豆生田 啓友編 ミネルヴァ書房